

第4章 将来像

すべての住民が誇りと生きがいを持ち、幸せに住み続けるまちを展望し、まちの将来像を次のように定めます。

心豊かで活力と夢にあふれるまち 浦河町 ～支え合い 今から ここから 自分から～

日高山脈と太平洋の雄大な自然に抱かれ、夏は冷涼で冬は温暖な気候に恵まれた浦河町は、将来的にも町民が共有する貴重な財産であり、これらがもたらす恵みと環境を次世代に引継ぐのも私たちの使命であります。

この恵まれた地域特性を最大限に活用し、新たな時代に適応した独自の地域文化や産業振興を図りながら、第1次産業である農林漁業と福祉、教育などまちづくりのあらゆる分野で経済的な豊かさと心の豊かさを併せ持った真の豊かさを、すべての人が考え、行動して創りあげる力（活力）を引き出し、将来に「明るい夢の持てるまち」を目指します。

また、誰もが健康で、安全・安心して暮らせるまちづくりと、未来の地域を支える子どもたちが生きる力や創造性を発揮できるまちづくりを目指します。

この将来像を実現するためには、行政と町民がより一層連携を深め、それぞれの立場でお互いを理解し合い、支え合いながら自分が今やれることを行動に移すことが大切です。